

功 績 概 要

【学校医】

○嶋 久子（しま ひさこ） 鈴鹿市立大木中学校

氏は、昭和57年7月1日に鈴鹿市立大木中学校の学校医に就任されて以来39年間の長きにわたり、生徒の健康診断はもとより、その健康維持増進、疾病予防など、生徒の健康管理に献身的に尽力されるとともに、学校保健の推進に寄与された。近年では、当該校においても食物アレルギーの生徒が増えてきているが、こうしたアレルギーを持つ生徒への対応について、早くから教職員に適切な指導・助言をし、また、当該生徒や保護者に対しても、直接、電話等でアドバイスをされるなど、関係者へのきめ細かな配慮に努めている。

○松葉 務（まつば つとむ） 亀山市立関小学校 他6校

氏は、昭和60年4月から関町立関小学校等、小学校6校、中学校1校の耳鼻咽喉科学校医として現在まで36年の長きに亘り務められ、学校保健の推進に寄与されている。この間、健康管理と保健教育の両面から専門医としての指導に努め、学校保健の重要性を普及啓発する等、多方面に亘り献身的に尽力するとともに、常に児童生徒一人一人の諸感覚の発達程度をチェックしながら健診を行い、耳鼻咽喉科疾患の早期発見から治療・改善に努めるとともに、教職員への適切な指導・助言により、児童・生徒・教職員及び保護者からも厚く信頼されている。

【学校歯科医】

○亀田 六史（かめだ むつひと） 三重県立石薬師高等学校 他2校

氏は、昭和62年4月から平成9年3月まで三重県立石薬師高等学校、平成9年4月から現在まで鈴鹿市立庄野小学校、令和3年4月から現在まで三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校の歯科医として、児童・生徒のう蝕の予防、指導に関心が深く、う蝕の早期治療の徹底、歯と口の健康増進、健康管理の高揚等、学校関係者との連携のもと、生徒の口腔衛生の普及と向上に力を注ぎ功績を残している。また、同人は地域に於いても信頼があり、住民の口腔衛生の向上と普及に力を注ぎ、う蝕予防に大きな功績を残した。

○金原 耕司（きんばら こうじ） 亀山市立井田川小学校

氏は、平成7年4月から現在まで亀山市立井田川小学校の歯科医として、長きに亘り児童のう蝕予防、口腔衛生の普及と向上に力を注ぎ功績を残している。また、平成18年4月から現在まで三重県歯科医師会亀山支部幹事、亀山歯科医師会常務理事、亀山歯科医師会専務理事として、例年実施している歯の衛生週間を通じ、地域での口腔衛生普及を図るため、よい歯の児童生徒審査表彰等を行い、歯の衛生に関する正しい知識を普及し、歯科保健の重要性と認識を深める活動に尽力した。

【学校薬剤師】

○川口 嘉彦（かわぐち よしひこ） 名張市立つつじが丘小学校 他1校

氏は、昭和57年から現在まで名張市立つつじが丘小学校並びに名張市立南中学校の学校薬剤師として、学校環境衛生活動の年間計画に基づき、飲料水・プール水等の厳密な試験検査並びに教室の照度等検査を実施し、学校の施設設備の環境衛生向上に力を注いでいる。三重県に覚せい剤等乱用防止推進員制度（現在 三重県薬物乱用防止指導員）が設けられた昭和59年当初から現在までの永きにわたり同推進員の委嘱を受け、「くすりの正しい使い方教室」を開催し、正しい知識が身につくよう指導に尽力している。

○前田 浩之（まえだ ひろゆき） 志摩市立鶴方小学校 他1園

昭和60年から現在までの36年間、学校薬剤師を務め、現在、志摩市立鶴方小学校と鶴方幼稚園を担当し飲料水及びプール水の水質検査や照度検査を的確に行い、衛生的で安全に園児児童が使用できるよう、よりよい環境づくりに努めている。教室内の空気中の化学物質（シックハウス症候群）の検査及び指導にも取り組み、学校施設設備の環境衛生の向上に力を注いでいる。また、平成13年から10年間、鳥羽志摩薬剤師会の学薬委員として会員の統率・育成に努め、学校環境衛生の維持及び改善に尽力している。